



2025 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社きんえい
代表者名 取締役社長 作田 憲彦
(コード番号 9636 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経理部長 森本 清士
(TEL. 06-6632-4553)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025 年 3 月 13 日に公表した 2026 年 1 月期第 2 四半期（中間期）（2025 年 2 月 1 日～2025 年 7 月 31 日）及び通期（2025 年 2 月 1 日～2026 年 1 月 31 日）の個別業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026 年 1 月期第 2 四半期（中間期）個別業績予想数値の修正（2025 年 2 月 1 日～2025 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,800	百万円 120	百万円 120	百万円 80	円 銭 28.69
今回修正予想 (B)	1,878	178	181	128	46.20
増 減 額 (B-A)	78	58	61	48	
増 減 率 (%)	4.3	48.3	50.8	60.0	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 1 月期第 2 四半期(中間期))	1,795	169	171	117	41.98

2. 2026 年 1 月期通期個別業績予想数値の修正（2025 年 2 月 1 日～2026 年 1 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,620	百万円 220	百万円 220	百万円 130	円 銭 46.63
今回修正予想 (B)	3,660	230	240	155	55.60
増 減 額 (B-A)	40	10	20	25	
増 減 率 (%)	1.1	4.5	9.1	19.2	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 1 月期)	3,571	282	292	154	55.44

3. 修正の理由

当第2四半期（中間期）は、シネマ・アミューズメント事業において“国宝”『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』第一章 猗窩座再来”などの想定を超えてヒットした作品が寄与したこともあり、売上高は当初の予想を上回りました。また、経費全般にわたり抑制に努めたことにより営業利益、経常利益及び中間純利益はそれぞれ当初の予想を上回りました。

第3四半期以降は、シネマ・アミューズメント事業では現時点で公開が予定される作品に基づく収入予想の合計が当初に比べて減少する一方、不動産事業の売上高は当初予想並みの水準で推移すると見込んでおります。また、費用面では諸経費の増加を見込んだため、売上高及び各段階利益の見通しを当初よりも引き下げておりますが、通期の業績は当初予想を上回る見通しであります。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、第2四半期（中間期）の決算短信は、2025年9月11日（木）発表予定であります。

以 上